

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

一般事務事業	経常事務事業	建設事務事業
--------	--------	--------

第5次行政改革大綱第1次アクションプランとの関連	
<input type="checkbox"/> 有	
<input checked="" type="checkbox"/> 無	

1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	前後駅南口駐輪場整備事業(主要事業)							
1-2 担当	部	総務部	課 又は施設	防災安全課	係	防災安全係	評価票作成者	交通防犯担当係長 村瀬一幸
1-3 総合計画における施策の体系	節	都市基盤・産業振興 「いきいきとした賑わいと活力あふれるまちづくり」			基本施策	交通対策	コード	3 1 2
	項	道路・交通			単位施策(中)	駐車・駐輪場対策	コード	3 1 2 2
					単位施策(小)	駐輪場の整備	コード	3 1 2 2 1
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	駐輪場の利用者を対象		意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)	毎年増加している、放置自転車対策のために安全で快適な交通環境の整備を図り、放置自転車等の防止に努める。			
1-5 事務事業の内容	放置自転車がなく安全で快適な住みよい生活環境を図るため、前後駅南口駐輪場の整備を行い放置自転車の防止を図る。							

2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み		社会状況等の事務事業がおかれる環境把握		市民ニーズの認識	
	平成18年度	駐輪場整備にあたり、地元区長等に移転場所、工事方法等について事前説明を行った。	放置自転車がなく安全で快適な交通環境の整備を図るため、自転車等放置防止条例に基づき放置させない環境づく		安全な交通環境を確保するため、駐輪場に防犯灯、自転車等の転倒防止対策を設置したことで、市民に好印象を与えている。	
	平成19年度					
	平成20年度					
	平成21年度					
	平成22年度					
	平成23年度					
	平成24年度					
	平成25年度					
	平成26年度					

2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名		前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明
	前後駅南口駐輪等収容台数(台)		250台	320台	放置自転車がなく安全で快適な交通環境の整備を図るため、駐輪場を整備し収容台数の割合。収容計画では、前期目標値と後期目標値は収容台数を設定した。

2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)	活動実績 a (収容台数)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	直接事業費 b (千円)	320									
	人件費 c (千円)	7,055									
	合計コスト d (b+c) (千円)	852									
	単位コスト d/a (千円)	7,907									
	収容1台当り25	当たり									

アウトプット実績(活動数値)の補足説明 → 直接事業費は、前後駅南口駐輪場の整備工事費(決算額)である。人件費は、平均賃金(3,200円)に担当課(3課266時間)が事務事業に要した平均時間単価として策定した。

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2 - 4 成果指標に対応する実績と達成度の推移	指標対応実績(単位)	320(台)									
	後期目標値に対する達成度(%)	100(%)									

3 事務事業の自己評価結果

3 - 1 評価結果(アウトカム自己分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
単年度担当課評価		A									

- 4段階評価結果
- A : 上位目的である施策に貢献しているので継続する
 - B : 事務事業の実手法や環境(予算的・人的)に改善が必要
 - C : 縮小等、事務事業としての見直しが必要
 - D : 事務事業の廃止が相当
- 判断の基準
- 必要性(必要な事務事業であるか)
 - 公共性(公が実施する意味があるか)
 - 妥当性(ニーズに対して投入が適正か)
 - 効率性(結果に至る活動に無駄はないか)
 - 有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか)
 - 市民満足度(事務事業が対象にしている市民を満足させているか)

3 - 2 評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識		次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
	平成18年度	従前の駐輪場は、駅に近く利便であったが離れたところに整備したため、放置自転車が增多することが課題である。		放置自転車がなく安全で快適な、交通環境整備を進めるため、駐輪場に駐輪するよう指導する。
平成19年度				
平成20年度				
平成21年度				
平成22年度				
平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				

4 事務事業の総合評価結果

4 - 1 総合評価の結果		結果	審査会による改善方向の指示
平成18年度	A	継続して事業を進めること。	
平成19年度			
平成20年度			
平成21年度			
平成22年度			
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			